

撮影終えて 万感



西川町大井沢で地域医療に生涯をささげた医師志田周子（ちかこ、1910～62年）を描く映画「いしゃ先生」の撮影が8日、すべて終了した。同日夜に同町で記者会見が行われ、監督らが去年10月から行ってきた県内ロケの印象や作品への思いを語った。

県内ロケの映画「いしゃ先生」一般公開へ決意新た

西川町大井沢で地域医療に生涯をささげた医師志田周子（ちかこ、1910～62年）を描く映画「いしゃ先生」の撮影が8日、すべて終了した。同日夜に同町で記者会見が行われ、監督らが去年10月から行ってきた県内ロケの印象や作品への思いを語った。

クランクアップ会見に臨んだのは永江一朗監督、脚本担当のあべ美佳さん（尾花沢市出身）、周子役の平山あやさん、

周子の助手幸子役の上野優華さん。永江監督は「自分が人生を懸けた。大きな

西川で会見 監督ら思ひ語る

な分歧点になる作品であり精根尽きた。監督をさせてもらつたことに感謝するのみ」と万感の表情。

あべさんは、地元住民による手厚い支援やスタッフの苦労を振り返つて感極まりながら「やつとこここまで来てほつとしてい

るが、映画は作つて終わらない。ここからがスタート」と一般公開に向けての決意を述べた。平山さんは、周子に診察してもらつたことがある高齢の女性が「先生に似ている」と今でも慕つて涙ぐむ姿に胸を打たれたことを紹介。「まだまだこの役を演じていたい。もつと周子先生のことを探りたいと思う」と名残惜しさを口にした。製作会社によると、一般公開は今年の年末か来年の新春を予定。製作費の募金活動などを展開し

てきた「志田周子の生涯を銀幕に甦（よみがえ）らせる会」の阿部幸一会長は「これからは全国の人々に作品を見ていただけよう努力していく」と会の活動を次の段階に移行させる考えを示している。